

# 発刊にあたり



北秋田市長

津谷永光

が流れる水と緑に囲まれた美しいまちです。 人、面債は狄田県)り、一が田県の北部中央に位置する北秋田市は、 市の中央部には、夏は「花の百名山」、 面積は秋田県の約1割を占め、 ゆったりとした時間 冬は青森八甲 人口約3万

田連峰、 自然のシンボルとなっています。 て名高い県立自然公園の森吉山が勇壮にそびえ、豊かな 山形蔵王山と並び「日本三大樹氷鑑賞地」とし

おり、 口 れた史跡「伊勢堂岱遺跡」、 R奥羽本線、首都圏と本市を1時間で結ぶ大館能代空港、 の産業近代化に貢献した阿仁鉱山の歴史とマタギ文化な また、 そして、延伸目覚ましい日本海沿岸東北自動車道やJ ーカル鉄道の秋田内陸線といった交通体系も充実して 世界に誇れる魅力が数多く地域に点在しています。 自然・観光・文化・交通のあらゆる地域資源が融 令和3年7月にユネスコ世界文化遺産に登録さ 世界一の綴子大太鼓、

や見ま『もり』を大事にし、地方の個性と活力を生かし の実現に向けて、 た持続可能なまちづくりを推進します。 将来都市像に掲げる「住民が主役の"もり"のまち」 市民を主役に市民相互のぬく『もり』

合して個性豊かな都市を形成しています

北秋田市のあゆみ

平成19年9月29日 平成17年3月22日 4町が合併し、「北鷹巣町、合川町、 秋田わか杉国体が開幕。 「北秋田市」

平成22年 平成26年7月19日 平成23年4月1 平成22年10月30

平成26年10月11日26日 平成7年4月8日 日

平成 28 28 年 4 月 30 24 成28年10月22日

平成30年3月21日

日沿道鷹巣大館道路

平成30年4月24日

令和2年12月13日

令和3年7月27日

交流大会開催ねんりんピック秋田健康マージャン (鷹巣匠~二井田真中匠) 開通日沿道鷹巣大館道路 国民文化祭「文芸祭現代詩大会」開催 北秋田市民病院が開院 市民ふれあいプラザコムコムオープン 伊勢堂岱縄文館オープン 新生・北秋田市立合川小学校誕生 北秋田市誕生10周年記念式典 阿仁熊牧場のヒグマ舎がオープン 県立秋田北鷹高等学校が開校 第133回秋田県種苗交換会を開催 第59回全国植樹祭開催 ル競技・フェンシング競技 競技を開催 本市ではバ

成29年9月10日

北秋田市クリーンリサイクルセンタ ーエネルギー回収推進施設完成 (大館能代空港IC~鷹巣IC)開通

化遺産登録決定 北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文 日沿道鷹巣大館道路 (蟹沢IC~大館能代IC) 開通

# 未来に向けた五つの柱

# 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり

工業の振興や滞留型観光の推進を図り、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせ市民一人一人が自発的に、自分にあわせた健康づくりに取り組み、地域の特性を生かした商 るまちづくりを推進します。

# お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり

地域で進めてきた支え合いの地域コミュニティ活動に対して積極的に支援し、 い者が安定して暮らせるまちづくりを推進します。 高齢者や障が

# 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり

ような環境の充実と市民が日常的にスポーツに取り組み、心身ともに健康に暮らせるまちづ 子どもを安心して生み育てることができ、未来を担う子どもたちが心豊かでたくましく育つ くりを推進します。

# 四 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり

本市の恵まれた自然環境を後世に引き継ぐため、森林・河川環境の保全に努めるとともに、 管理と機能強化に取り組んでいます。 リサイクル体制の確立や省エネ・再生可能エネルギーを推進し、都市基盤施設の適切な維持

# 耗 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり

た通学路の見守り活動等、 地域の身近な場所で、安全・安心を支える消防団や自主防災組織をはじめ、市民が主体となっ 地域における防災や防犯などの活動支援に努め、 安全・安心のま

					130		SIL				A St		
北秋田市へのアクセス 34	北秋田市の歳時記 32	北秋田市の統計 30	市議会・市章・市民憲章 28	五、みんなで力をあわせる	四、自然を愛し環境をととの 22	三、命のたいせつさを学び 三、命のたいせつさを学び	<b>一、お互いが尊敬し支えあう</b>	一、健康でしごとにはげむ	北秋田市の特産品 8	北秋田市の文化財 6	北秋田市が誇る自然 4	北秋田市長あいさつ 2	目次
54	34	50	20	4	44	10	10	10	0	O	4	4	

## 四季折々の自然美





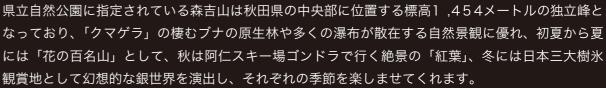
1						
3	2					
( <del>5</del> )	<b>4</b> )					

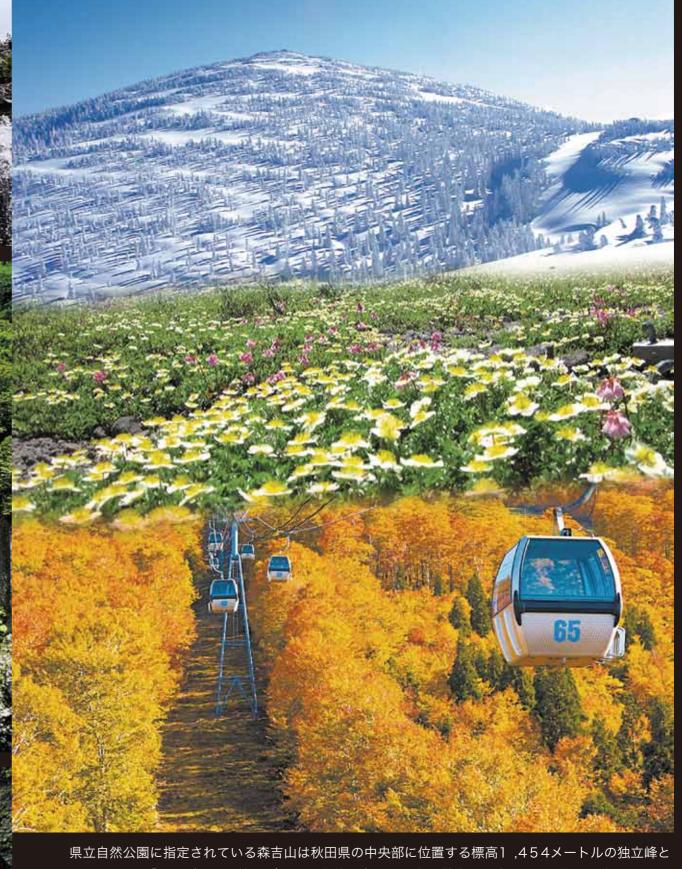
①日本の滝百選「安の滝」最上部 ②「安の滝」全景 ③桃洞渓谷「桃洞滝」 ④立又渓谷「二の滝」 ⑤小又峡「三階滝」











森吉山を囲むよう

に名瀑布群が数多く散在する貴重な自然遺産

## 阿仁マタギの狩猟用具 (国指定重要有形民俗文化財)

主に熊の狩猟を生業としたマタギ。「山の 恵み」に感謝の念を忘れず、必要以上の獲物 を捕獲しない自然と人間の共生に重きを置い て生活していた人たちが使用した槍、罠、衣 装、生活用具、行商関係の用具などの293点 が国指定重要有形民俗文化財に指定されてい

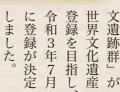




## 伊勢堂岱遺跡

板状土偶

縄文時代後期









## 綴子大太鼓 世界一の和太鼓 (ギネス認定)

弘長2年(1262年)に始まった『八幡宮綴子神社』 の例大祭で、雨乞いの神事として天に届くような大き な音を轟かせるために作られたのが始まりと伝えられ ています。大太鼓の直径は3.71メートルもあり、平 成元年にはギネスに認定されています。





## 国指定重要無形民俗文化財

源氏の遺臣あるいは離散した平家の家臣が移り住んだとされる根子集落では、古くから番楽が行われてい

根子番楽は、山伏神楽の流れをくむ活発で荒っぽい 武士舞と歌詞が文学的にも優れていると称賛されてい

伝統食や文化が育んだ商品が、 受け継がれ

**品開発等のものづくりが進んでいます。** また、市内の農林業の活用による新たな逸地域の活性化につながっています。





北あきた バタ— 餅

「北あきたバター餅」は、もち米を蒸 かしてバターや卵黄、砂糖を練り込みな がらついたお餅で、テレビ等でも紹介さ れた、この地域を代表するスイーツです。

## 山 刀 (ながさ)

北秋田市阿仁地区にはマタギと呼ばれる猟師が存在し、 そのマタギが猟をするために実用一点張りで作られたのが

「又鬼山刀 (マタギナガサ)」 です。

全国でも数少ない存在に なってしまった鍛冶職人が、 マタギの誇りを受け継ぎこ の山刀が作られています。



ましたが、当地出身の工房職人が平成18年に操業を停止。いったんその歴史に幕をおろし 操業を停止。いったんその歴史に幕をおろしを博していましたが、秋田市にあった工房がで、秋田では「秋田黄八丈」と呼ばれ、人気八丈島で生まれ伝わった草木染めの絹織物















IT()KU

美人工育了

未来に向けた五つの柱

ちづくりを推進します。 健康寿命を延伸させることで、 いつまでも安心して暮らせるま 業の振興や滞留型観光の推進を て、地域の特性を生かした商工 生活することができます。そし 生涯を通じて健やかで心豊かに わせた健康づくりに取り組み、 の健康は重要な要素です 一人一人が自発的に、 仕事を頑張るためには、 誰もが住み慣れた地域で 自分にあ 0 市民

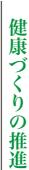




医療診療体制を充実させ、市民が安 地域の医療機関との病診連携や在宅 域の中核病院である市民病院の医療 地域という本市の背景を踏まえ、 りに取り組んでいきます。 で生活を送ることができる環境づく 心して医療を受け、住み慣れた地域 高齢化の進行や生活圏が広く山間 ービスの向上に努めるとともに、 地

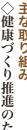
主な取り組み

◇北秋田市民病院の充実 ◇地域医療体制の充実



健康寿命との差を縮めるよう進めて寿命が延びていますが、その一方でり、本市のみならず全国的にも平均り、本市のみならず全国的にも平均 いきます

(検) 診受診を推進し、早期発見・ 早期治療により重症化予防を進める は自分で守る」という意識を高める とともに、本市の死因の第1位を占 める「がん」の対策、全国でも高い 状況が続いている秋田県の自殺死亡 率を抑制するため、身体の健康のみ 率を抑制するため、身体の健康のみ ならず心の健康づくりを進めます。 感染症対策を勧め市民が安心して 感染症対策を勧め市民が安心して をならずるよう取り組んでいきます。 **主な取り組み** ◆健康づくり推進のための地域等



◇特定健康診査・特定保健指導・
◇がん対策の強化
◇感染症対策・予防接種の推進
◇地域における健康診査の推進
育の推進















け、農業生産基盤の整備やスマ

また、持続可能な農業構造の実現に向

な施策の推進が求められており、 の展開による生産性の向上など て行っていく必要があります。

業就業者数や農地面積が減少し続けるな

少子高齢化・人口減少が進む中で、

## 緑豊かな大地の恵みを未来

## 商業の振興

行量の減少に伴い、空き店舗が増加行量の減少に伴い、空き店舗が増加 組んでいきます。 進めながら市外への販路拡大に取り 起、地域資源を生かした商品開発を

盤づくりを進め、 管理できるよう、

生産性の向上に取り組み、森林を適切に

るほか、高性能林業機械の導入による省

資源を循環させるための再造林

され、森林整備の一層の促進が期待され 令和元年度より森林環境譲与税が創設 業の成長産業化と適切な森林管理を両立

二酸化炭素吸収による温暖

市の面積の80パーセント以上を占めて森林面積は9万6347ヘクタール

ルで

市内には北秋田大野台工業団地を 企業誘致や既存事業所の拡大を推進 車道の整備延伸などの利点を生かし、 大館能代空港や日本海沿岸東北自動

たた。の就業機会の確保に取り組んでいきかが雇用ミスマッチの解消、高齢者



# 豊かな自然、 歴史、文化に触れ遊ぶ

# の振興<br /> の振興

年は台湾の観光客が増加し、秋田内陸線なられつつあり、海外からの観光客についてられから、海外からの観光客についてる落ち込みから、緩やかに回復の兆しがみ る落ち込みから、 られつつあり、 の以前は韓国人観光客が中 観光客数は、 の関心が高まっています 東日本大震災等の影響によ

県との協働による「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」を進め、観光基盤の拡充勢堂岱遺跡等の歴史や文化を活用し、全市的な観光振興に力を入れています。 森吉エリアの観光振興を図るため、 秋田

振興への波及を促すため、関係機関等との阿仁川等の水質資源の活用による観光産業議や要望活動等に取り組むほか、米代川や議や要望活動等に取り組むほか、米代川や 連携を図っていきます。

## 主な取り組み

関係機関との連携強化 老朽化した観光施設の改修及び整備 歴史文化を活用した観光の推進 森吉山を中心とした滞留型観光の推進

親光イベントの見直し



## □国指定重要文化財 「阿仁異人館」

ドルフ・メッケルらの官舎と して建築された洋館で、かつ

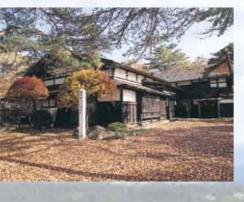
明治15年ドイツ人技師、ア

「浜辺の歌」「かなりや」な



# ■浜辺の歌音楽館

楽譜など為三の資料も多数展して建てられた博物館。自筆 どを作曲した成田為三を記念



# □県指定文化財

重とされています。 家。建物は文政13年頃の建代々肝煎を務めた七日市の 江戸の面影を残す





# 未来に向けた五つの柱 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり 希薄になるなど、社会環境が を化していますが、これまで 地域で進めてきた支え合いの 地域で進めてきた支え合いの で積極的に支援し、高齢者や で積極的に支援し、高齢者や で積極的に支援し、高齢者や 等により、地域のつながりが少子高齢化や核家族化の進行よく機能することが重要です。 け合いと福祉施策がバランスすためには、地域における助 誰もが明るく健やかに暮ら

## 地域福祉の充実

になって 能が弱まり、 域での交流や人々の結びつきが希薄 ライバシー 家族同士や地域で支え合う機 ライフスタイルの変化、 社会情勢が大きく変化する います。 の配慮等から、 また、 個人の価値観の 身近な地

地域福祉の在り方を検討 決に取り組んでいきます。 の連携を図りながら、 福祉協議会、ボランティア団体等と になっており、 を送るためには、 市民の福祉に対するニーズは多様 してきており、 ・ションを深め、 を高めていくことが一層大切 誰もが安心して充実した生活 民生児童委員、 子どもから高齢者 互いにコミュニ 「地域で支え合 本市における



# 高齢者福祉の充実

ントになることが見込まれています。ト、さらに令和22年には約51パーセ上回り、令和3年には44・6パーセン1パーセントずつ上昇して県平均を ビスを一体的に提供していきます。 要介護状態にならないための予防的 域包括ケアシステムを機能強化し、 安心して生活し続けられるよう、 認知症者も増加しており、高齢にな介護や支援を必要とする高齢者や な取り組みや、 ってもいつまでも住み慣れた地域で 市の高齢化率はここ数年、 在宅医療・ 介護サ 毎年約 地

## 主な取り組み

◇高齢者の社会参加、 介護予防への支援 健康づくり

◇地域包括ケアシステムの維持・ 機能強化

◇高齢者福祉施設の整備、 見直し

◇在宅生活支援

# 地域自治の体制確立地域コミュニティの推進

ます。 会があり、 域コミュニティの核として自治会・ 意識の高さが本市の特長となってい 加している割合は7割を超え、 環境美化活動といった地域活動に参 じめ、祭りや伝統芸能等の地域行事 が危ぶまれる団体も出ています。 率の減少や担い手不足により、 多様化等から自治会・町内会の加入 町内会の役割は益々大きくなる一方 市内には約230の自治会・町内 高齢化や核家族化、 しかし、 自治会・町内会活動をは 人口減少が進み、 生活様式の 市民 存続 地

域コミュニケ て支援していきます。 ミュニティ 自治会・町内会と行政が、 内会にとどまらず、 ニケーションの担い手としといった団体についても地 の実態を認識し、自治会・ ボランティア 地域コ



◇生活困窮者の自立支援

◇地域福祉の在り方検討

◇民生児童委員、

社会福祉協議会

主な取り組み

◇地域活動の推進 ◇地域と行政との恊働の推進





# 障がい者福祉の充実

での相談や支援の充実を図っていき サービス内容等の急激な変化に対す の法整備が進んでいることから、 る適切な情報提供や、 障がい者の生活や権利を守るため 就業や生活面

## 主な取り組み

◇障がい児への支援就労支援)の促進 ◇自立支援サー ・ビス (地域移行



# 命の大切さを学び文化をはど くむ豊かなまちづくり





発や結婚に向けた支援、不妊治療に対産化の対策として、若い年齢からの啓 家庭を両立する支援として、子育てにする助成等を行っているほか、仕事と 出による人口減、未婚化、晩婚化、晩 係る負担軽減や不安の解消をはじめと んでいきます。 した切れ目ない包括的な支援に取り組 出生数減少の背景にある、 若者の流

## 主な取り組み

◇子育て家庭を支援する環境づくり◇岩婚、子育てと仕事の両立支援

◇地域・社会全体で子育てを支える

意識・環境づくり





# 学校教育の充実

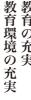
秋田県の子どもの学力は、全国トップレベルを維持しており、本市の子どもたちの学力も同様に水準を維持しています。不登校の出現率も国持しています。不登校の出現率も国内がり割を超えています。 子どもたちを取り巻く環境や社会がり割を超えています。 子どもたちを取り巻く環境や社会がり割を超えています。 今校が連携・協働し、地域に根ざした特色ある学校づくりを目指していたす。

若者を育成していきます。口が減少している本市の将来を担う口が減少している本市の将来を担うるともに、人い教育水準を維持するとともに、人

校づくり ◇地域の実情に応じた特色ある学 主な取り組み

◇ふるさとへの愛着と誇りを重視

◇教育環境の充実 ◇一人一人の子どもに寄り添った ◇一人一人の子どもに寄り添った















むきっかけづくりや底辺拡大、競技

力向上に取り組んでいます

主な取り組み

◇スポーツ環境の充実

◇競技スポーツの向上を通じた地域活性化









事業等による学習機会を提供してい 職員の出前講座や文化会館での自主田分校による公開講座、さらには市 地区公民館での講座や秋田大学北秋本市では、3つの公民館と8つの を拠点として、世代間交流や仲間づ を支援しています。 館等も活用した市民の自主的な学習 るほか、高齢者大学や各地区の図書 今後は北秋田市民ふれあいプラザ

の活性化にも取り組んでいきます。 がら、生涯学習の充実を通じた地域 くり、 生きがいづくりを、推進しな

主な取り組み

◇学びの場・発表の場の提供 ◇市民ふれあいプラザを拠点とし ◇地域づくりにつながる社会教育 た生涯学習の充実と地域活性化



市民ふれあいプラザ

憩い~交流~にぎわい



を充実させ、市民がスポーツに親しとともに、ニーズに応じて施設環境 加できる生涯スポーツの推進を図る 誰もがいつでもどこでも気軽に参 スポーツの振興



## 査では、 不法投棄を抑制し、市民参加による森林 型社会の構築が課題となっています。 てるようにしている」市民の割合が38 みの減量化の啓発及び再生利用等の循環 ;出量は微減していますが、市民意識調北秋田市の家庭ごみ一日一人当たりの セントと年々減少傾向にあり、 「環境問題を意識してごみを捨 広く自然環境保全の観点から、

適切な処理

ごみの減量化推進と

により、一人一人の意識を高め、より良河川の自然環境保全活動を推進すること 進めていきます い環境を確保し継承していく取り組みを

◇ごみの減量化とリサ

クル率の向上

主な取り組み

◇不法投棄対策の推進 ◇処理体制の充実

◇住民参加による自然環境保全活動の

◇し尿処理、 汚泥処理の対応

# 都市環境の整備

◇空き家対策

◇除雪体制の強化

◇居住環境の向上

編・利用促進 の再



主な取り組み

◇広域交流交通基盤の整備

◇市営住宅の整備

◇高齢者・障がい者への除排雪支援

◇地域との連携による除雪

◇秋田内陸線の利用促進

◇バス路線・デマンド型タクシ

◇大館能代空港等の活用

# 地球温暖化対策の推進

能エネルギ 炭素の削減に向けて、省エネの推進や、 公共施設の建設・更新においても再生可 に、地球温暖化の主な原因となる二酸化 市民のエコ意識の向上に努めるととも ーの導入を進めています。

## 主な取り組み

◇エコ意識の普及・啓発

◇再生可能エネルギーの利用促進









地域における

地域防災体制の充実

地域や関係機関との連携強化、要配 市民の防災意識を高めるとともに、 災害から生命と財産を守るため、 りや施設整備を進めています。者への支援、防災に向けた体制づ

## 主な取り組み

◇関係機関との連携強化による実 ◇自主防災組織結成の促進、 ◇市民の防災意識の向上 の充実

◇要配慮者の避難支援 ◇減災への取り組み

践力の向上

◇将来の消防リ ダーの育成



# 消防・救急体制の充実

や設備・資機材の整備、さらには消等に対応するため、消防署所の再編化の進展などに伴う救急需要の増加 急手当の知識や技能の習得を促進し 市民一人一人の防災意識を高め、 防職員の技能向上を図るとともに、 ています。 市域が広範囲であることや、 応

めています。要な役割を担う消防団員の確保に努要な役割を担う消防団員の確保に努また、迅速な消火・防災活動の重

主な取り組み◇消防・救急体制の充実・強化◇消防・救急体制の充実・強化◇消防職員の技能向上



# 男女共同参画社会の実現

と各事業所への働きかけを行ってい認識を高めるため、研修機会の確保 家庭生活との両立等に対する市民の 地域活動における男女共同参画や

## 主な取り組み

◇市民参画、行政内部における女◇事業所における取り組み推進 性の活用



## 相談体制の充実を図っています。消費生活センターを配置するなどし、 や情報の普及啓発を図るとともに、 トラブルに遭った際への対応として、 う、消費生活に関する正しい知識市民がトラブルに巻き込まれない

消費者保護の推進

## 主な取り組み

◇特殊詐欺防止意識の啓発 ◇消費者取引の適正化 ◇消費生活相談体制の充実・整備



# 行財政改革の推進

調査を進めていきます。 理解を深めるための情報提供や意識 ム化・効率化を進めつつ、市民の時代の変化に応じた行政運営のス

## 主な取り組み

◇行政運営のスリム化と効率化

◇市職員の意識改革・能力向上◇財政運営の健全化 ◇広報・広聴の充実 ◇電子自治体システムの構築推進



努めています 備や修理を進め、 交通安全協会・防犯協会等の関係団 カーブミラーやガードレール等の設 る意識の啓発に努めるとともに、 交通安全・防犯に対す 市民の安全安心に

## 主な取り組み

◇犯罪被害者へのケア ◇交通安全意識・防犯意識の啓発 ◇交通安全施設・防犯灯の整備







# 出に移住 しまし



を運びました。 てから考えようと、 空き家もある」と聞き、 ら「秋田は放射線の心配もなく 由で阿仁荒瀬に帰郷した知人か 影響などを調べ始めました。 を無事に育てられるか不安がふ が高い傾向にあり、 福島第一原子力発電所の事故に そう思った織田さんは、同じ理 の東日本大震災による東京電力 いた栃木県北部も空間放射線量 くらみ、ご自身で健康に与える 常が出たら絶対に後悔する』 『子どもや孫世代の身体に異 当時、 織田さんが住んで その地に足 子どもたち 一度見

で「子どもが多い我が家が、少 けたという織田さん。その一方 な地域ということは聞いていた しでも何かのお役に立てたら」 ものの、予想を上回り衝撃を受 という思いがありました。 あらかじめ少子高齢化の深刻

平成23年3月 別れに寂しい表情を見せながらかけ、気持ちを聴くと友達との 然に囲まれた阿仁荒瀬に、 子ども5人の家族7人で移住 Ŕ 子どもたちに移住の話を持ち 織田さんは移住を決断。 嫌がらずに受け入れてもら 妻と

# 住んでみた感想は

とに胸を打たれました。 を信頼し、受け入れてくれたこ 移り住んできたばかりの私たち 安心する」と喜んでくれたりと、 を歓迎してくれて、 あちゃんが「居てくれるだけで 食べ物は本当においしくて、 地域の皆さんが、 近所のおば 私たち7人

秋田のお米はおいしいです。 食べられますし、 豊かな農産物や山菜は安心して お世辞抜きで

見て、本当に移り住んで良かっ が元気に外遊びをしている姿を たと思っています。 そして何よりも、子どもたち

# 移住定住の促進

移住の決断

織田直樹さん〉

図っています。 若者の定住に対する意識の向上を 移住者と地域のネッ 北秋田市の認知度を高めるほか、

## 主な取り組み

◇時代のニーズに即した「きたあ の情報発信、 きた暮らし」 、移住希望者との接」の魅力と移住施策

◇オーダーメイド型の多彩な移住 体験メニューの提供

点づくり

- ◇多チャンネルの窓口の開設によ と創造 る移住相談及び移住施策の奨励
- ◇移住者と地域のネットワ くりの支援 **ークづ**
- ◇移住希望者の就職支援と地場産 ◇若者の市内就職による定住の奨
- ◇新しい人の流れの創出

業の活性化



# 市民の声を市政に

応じて開催される臨時会により、 議員で構成され、年に4回の定例会と必要に北秋田市議会は選挙により選ばれた20人の 予算などの審議を行っています。 市の条例や

黒澤 芳彦

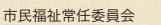
議長

また、『総務文教常任委員会』『市民福祉常

常任委員会に分かれ、より詳細な審査を行っ任委員会』『産業建設常任委員会』の3つの 常任委員会に分かれ、より詳細な審査を行 ています。

反映させる重要な役割を担います。市民の代表として、市民の声を届け市政に 平成30年4月1日~令和4年3月3日 北秋田市議会議員の任期

副議長 佐藤 重光



佐藤 光子

山田 博康

佐藤 重光

三浦 倫美

総務文教常任委員会

武田 浩人

小笠原 寿



中嶋 洋子 杉渕 一弘 福岡由巳



久留嶋 範子 関口 正則 黒澤 芳彦

## 産業建設常任委員会



永井 昌孝 壽 蛇川 敬 長崎 克彦



板垣 淳 松橋

## 北秋田市民憲章

わたくしたちは

北秋田市の創造をめざしより豊かで住みよい 歴史と伝統を受けつぎ 北秋田市民であることに 活気とぬくもりのある 豊かな自然と わたくしたちは 自覚と誇りを持ちます ひとが調和

## 北秋田市の花・鳥・木

自然を愛し 環境をととのえ

豊かなまちをつくります

美しいまちをつくります

住みよいまちをつくりますんなで 力をあわせ

●平成18年4月1日制定

あじさい

······ 〈平成18年4月1日制定〉



市内でも広く植栽され、 誰からも親しまれている花。 花の色の日々の変化に、 今後の市の発展を重ね合 わせています。

未来へ羽ばたく

ふるさとよ





水源涵養等の役割を成 し、自然の恵みを人々に与 え、豊かな自然を象徴し ている樹木です。

命の

文化をはぐくみ たいせつさを学び お互いが

尊敬し支えあい

活力のあるまちをつくります しごとにはげみ

明るいまちをつくります

健康で

この市民憲章を定めます

## 広大なブナの原生林の みに生息し、自然保護の 象徴として希少価値の高 い鳥。森吉山麓でも確認 されています。

北 田 市 作補作 曲作詞 民 道谷增夫 北秋田市民歌制定委員会

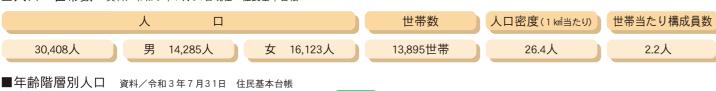
歌

峰は気高く 空を仰げば 人の和で 森吉の そびえ立つ

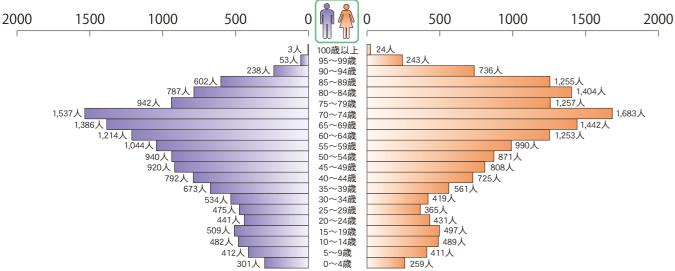
希望に輝く 若い力と 幸せ築き 進み行く ふるさとよ

めぐる季節も 阿仁の流れが 文化の花も選かな歴史 浪漫漂う ああ 豊かな恵み 命を彩る 麗し 縄文の ふるさとよ 咲き香る 受け継 幸 鮮やかに つむぐ夢 北秋平 田ぶ 1,1

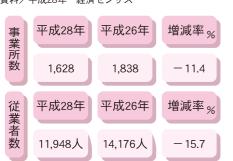
三、



■年齢階層別人口 資料/令和3年7月31日 住民基本台帳

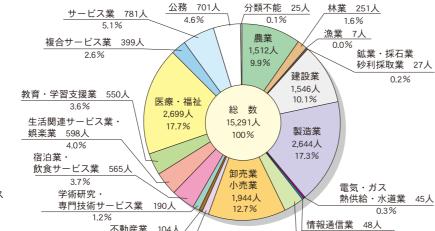


■事業所数・従業者数の増減(民営) 資料/平成28年 経済センサス



■農業経営体数 資料/平成27年2月1日 農林業センサス

総経営体数 1,391



■産業別就業者数(15歳以上)

出典/平成27年10月1日

国勢調査

0.3%

経営耕地面積規模別経営体数												
経営耕地なし	0.3ha未満	0.3ha以上 0.5ha未満	0.5ha以上 1.0ha未満	1.0ha以上 1.5ha未満		2ha以上 3ha未満	3ha以上 5ha未満	5ha以上 10ha未満	10ha以上 20ha未満	20ha以上 30ha未満	30ha以上 50ha未満	50ha以上 100ha未満
2	8	167	327	223	146	159	144	116	69	23	6	1

■小売業の事業所数・従業員数・年間販売額 資料/平成28年 経済センサス

年間商品販売額 事業所数 🗎 従 業 者 数 313 1,734人 3,809,800万円

■米の作付け面積と収穫量 資料/令和2年3月 秋田県農林水産業累年統計表

作付面積 収穫量 10a当たり収穫量 3,230ha 17,100t 529kg

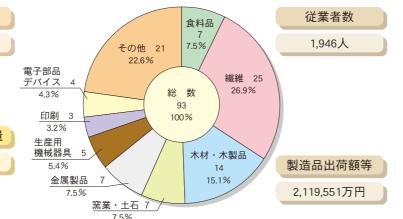
■製造業の状況 資料/平成28年 経済センサス

金融業・保険業 170人 運輸業・郵便業 485人

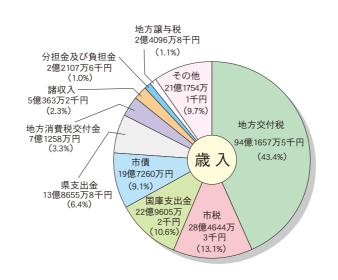
●事業所数(4人以上)

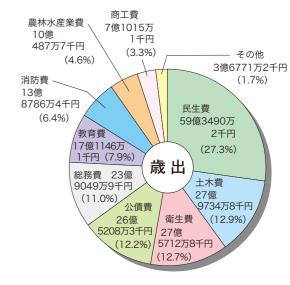
不動産業 104人

1.1%



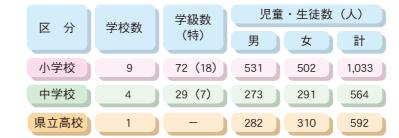
■一般会計当初予算額(217億1402万5千円)資料/令和3年度



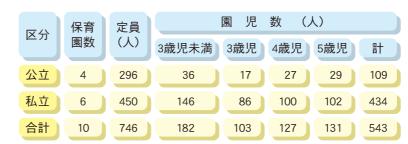


■学校の状況

資料/令和3年5月1日 現在



■保育園の状況 資料/令和3年4月1日現在



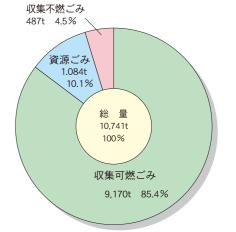
■認定こども園の状況 資料/令和3年4月1日現在



■下水道等処理人口 資料/令和3年3月31日現在

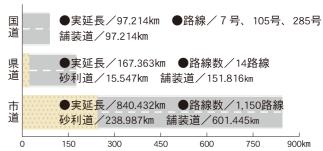
区分/年度	2年度	2年度末普及率		
公共下水道	16,270人	53.2%		
農業集落排水	5,489人	18.4%		
合併浄化槽	3,854人	12.6%		
合 計	25,613人	83.8%		

■ごみ処理量 資料/令和元年度(一般廃棄物処理事業実態調査より)



■道路の状況

資料/国道・県道・市道:令和2年4月1日現在(秋田のみちの現況より)





# 文化をつなぐ比秋田市の歳時

# ■大太鼓叩き初め

太鼓4張による合同演奏がなか見ることができない大



## ■もちっこ市

どの販売も行われます。 北秋田市の新しい小正月



## ■万灯火(まとび)

を対しているでは、大学である。
を対しているできる。
を対している。
を対してい て先祖の霊を弔います。



## ■消防出初式

とともに、団員一丸となっし、一年の安全を祈願する市内消防団員が一堂に会 て市民の安全安心を守るこ 堂に会



■元旦マラソン【1日】

■消防出初式【4日】 ■大太鼓叩き初め【2日】

■森吉山の樹氷観賞

■市民スキー 大会【下旬】 上旬 ~3月上旬】

■厄払い祈願【1日】

■もちっこ市 【上旬】

■阿仁スノー ■大館能代空港かまくらんど【上旬】 キャンドルストリー

■県民歩くスキーのつどい【下旬】

■万灯火【中旬】

■河田杯マラソン【中旬】

■鷹巣中央公園「桜まつり」 ■「くまくま園」オープン 下旬

【下旬~5月上旬】

■森吉山阿仁側コース山開き【下旬】 ■森吉山山開き【3日】

# 樹氷観賞地で1月中旬からゴンドラで行く日本三大

農・工・商全般にわたる展ために行われており、毎年、や地域経済の活性化を図る 求める多くの市民で賑わい示品の観覧や特産品を買い ■北秋田市産業祭 市全体の地場産業の振興

# ■森吉山の樹氷観賞

きます 3月上旬まで樹氷観賞がで



■くまくま園

がお迎えします

## ■森吉山山開き

をしています。 1年の無事故・安全の祈願 日年の無事故・安全の祈願 が参加し、森吉神社で



## ■鷹巣中央公園 「桜まつり」

桜がライトアップされ、中中心に約1000本が植え る満開の桜を目当てに、毎央の堤を囲むように咲き誇 年多くの花見客が訪れます る満開の桜を目当てに、 園内にはソメイヨシノを



■100キロ **チャレンジマラソン** 市鷹巣間をコースに行 われ、毎年、全国各地 から多くのランナーが 参加し、豊かな自然か おる秋田内陸路を力走



# ■阿仁スキ

走することができます。 など景色も楽しみながら滑 雄大な山並みと美しい樹氷 スと良質なパ 3・5キロのロングコー ウダースノ



われます。



餅まきや、おしる で事として定着し 振るまいのほか、特産品な餅まきや、おしるこの無料





14

3

鼓と共に花火が打ち上げらが行われ、夜には火祭り太やダンス、絵灯篭行列など







# ■綴子神社例大祭

大祭。直径3メートル を超える大太鼓や、獅 を超える大太鼓や、獅 が神社に奉納されます。 が神社に奉納されます。

# ■綴子神社例大祭【14・15日】 ■米代川花火大会【上旬】 ■アユ釣り解禁【1日】

列がまつりを盛り上げます。るほか、ふるさと踊りの行ーマーケットなどが出店す

銀座通りが歩行者天国となメイン会場の駅前通り

■ふるさと踊りと

り、多くの餅の販売やフリ

■東北チェンソーアー

ト競技大会

■ふるさと踊りと餅っこまつり【上旬】

■竜ヶ森山開き【上旬】

■根子番楽【14日】 ■森吉山麓たなばた火まつり【7日】

■合川まとび・合川ふるさとまつり【4日】

会場に開催され、

毎年、

米代川河川公園を 大スタ

■米代川花火大会

■阿仁の花火大会と灯籠流し【16日】 ■北秋田市民俗芸能大会【下旬】

■100キロチャレンジマラソン【下旬】 ■大館能代空港スカイフェスタ 【中旬】 ■北秋田市縄文まつり【中旬】

■北秋田市産業祭【下旬】

■浜辺の歌音楽祭 3 目

■キラキラフェスティバ■阿仁スキー場開き

## 北秋田市アクセスマップ







## 市章

北秋田市の「き」をモチーフに、自然と 人が調和する姿を図案化したもので、秋田 杉をイメージした深い緑色で北秋田市の豊 かな自然を象徴し、緩やかなラインでぬく もりとゆとりを表し、羽ばたく様子で未来 への飛躍発展を表現しています。

(平成17年10月3日制定)

## 北秋田市勢要覧 2021年版

2021年9月発行

発 行 北秋田市

編 集 北秋田市総務部総合政策課広報係 〒018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号 TEL:0186-62-1111 FAX:0186-63-2586 URL http://www.city.kitaakita.akita.jp/